



正しい企業ルール

令和7年11月10日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業においてもっとも否定されるのは怠惰である。それに対比するのは、高い意識と意欲と勤労性なのである。

これらが健全な企業風土を与えるものであり、経営におけるかじ取りはそれを与える唯一の基盤である。

これら正しい企業ルールの育成は、自主的な労働環境と社員の自覚、それと高い企業倫理性の育成において経営が健全化できるのである。

これら優れた健全な社員の労働意欲が、企業の現実を与えることができるのである。

それらは経営の正しい現実がそれら企業環境と風土を与えることができるものであり、正しい意欲は正しい企業の基盤なのである。

これら優れた企業環境は高い労働意欲を与えるものであり、経営における健全性がそれを与えるものであると判断するものである。

経営がルールに準じ与えられることは、社員の共有性が、優れた企業を与えることができるのです。

それらが新たな創造性の正しい基盤であり、今日の変化という現実に対して適切な企業環境の実現を可能とできるものです。

これら経営の厳しさが正しい企業ルールであり、経営の健全性の実現を与えるものです。

また公正さは社員の合意を与える現実であり、それらは正しい経営の視点であるものです。

優れた企業は必ず優れた自己基盤を有するものであり、それらが優れた企業の現実を与えるものであると考えます。